



# 協会報

2018

発行日 毎月1日 通算発行 385号

5



今月のトピックス  
常任理事会の開催  
平成30年度知事表敬  
平成30年春の人事異動に伴う県協会訪問者のご紹介



石川の工芸シリーズ 石川県立美術館蔵  
あさじゆうぜんりもようふりそで きむらうざん  
麻地友禅瓜模様振袖 < 木村雨山【明治24(1891)年-昭和52(1977)年】>

制作年 / 昭和12(1937)年 サイズ / 丈172cm、裾63cm 技法 / 友禅  
木村雨山は金沢市に生まれ、昭和3(1928)年の帝展初入選以降、日展、日本伝統工芸展などで活躍し、友禅の部で重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されている。作品は、瓜にゴオロギ、チョウ、トンボなどの写実的な図柄と、絞りで表現した籬(まがき)を思わせる幾何学模様を圖案風に構成。加賀友禅の伝統技法に柔軟な感受性を加え、独自の境地を開いた作者の代表作である。

“未来”を創り “ふる里”を守る 建設産業

発行所 一般社団法人

**石川県建設業協会**

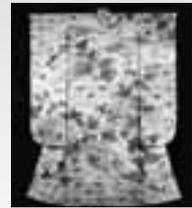
〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号  
TEL(076)242-116(代) FAX(076)241-9258

URL-<http://www.ishikenkyo.or.jp/>

# CONTENTS

2018

# 5



石川の工芸シリーズ  
麻地友禅瓜模様振袖  
木村雨山(きむらうざん)

1	今月のトピックス	
	常任理事会の開催	2
	平成30年度知事表敬	3
	平成30年春の人事異動に伴う県協会訪問者のご紹介	3
2	石川県土木部だより	
	北陸新幹線沿線の屋外広告物規制のお知らせ	
	石川県土木部都市計画課	4
3	平成29年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.4	
	宮下建設株式会社	6
4	雇用改善コーナー	
	工業系高校生等の富士教育訓練センター派遣事業について	8
5	地元建設業界の景気	
	～建設業景況調査 石川県版 平成29年度第4回より～	
	東日本建設業保証(株) 石川支店	10
6	会員リレーコーナー	
	173 吉田道路株式会社	11
7	今月の「輝き！」さん No.38	
	株式会社戸田組 北村直士 <sup>なほひと</sup> さん	12
8	協会だより	
	委員会の開催	13
	広報・研修委員会	
	企画部会の開催	13
	建設技術研修所	
	平成30年度新入社員研修の開催	13
	第40回測量コンテストの開催案内	14
9	石川県土木施工管理技士会だより	
	正副会長会議の開催	15
10	業界時報	
	労働災害発生状況	16
	平成29年度 建設工事受注高調(元請)	16
11	随筆	
	「速記とAI(人工知能)」 東日本建設業保証(株) 石川支店 支店長 安藤路也	17
12	会員消息	18
13	県協会からのお知らせ	18
14	地区協会からのお知らせ	19
15	関係機関からのお知らせ	20

## ◆ 今月のトピックス ◆

### 常任理事会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 吉光武志)の常任理事会は、4月3日(火)午後2時から石川県建設総合センター特別会議室において開催された。

冒頭吉光会長が挨拶で、本日の常任理事会では石川県警察本部及び県土木部より講師をお迎えしていること、また、新年度を迎え協会事務局に前土木部長山岸

勇氏及び前羽咋農林事務所長米田和正氏の二名をお迎えした旨の紹介を行なった後、「30年度公共予算は国は6年連続の微増、県は2020年のオリンピックを控

え金沢港や金沢城等の交流基盤の整備を行うことを聞いている。また労務単価も3月には3.5%引き上げられ大変ありがたく思っている。このような良い時期にこそ取り組まねばならない課題は若年労働者等の処遇改善や生産性向上に向けたICT施工への取り組み等問題が山積している。」と述べた。続く講演では、

「暴力団社会復帰支援について」と題し、石川県警察本部暴力排除担当表 豊補佐及び(公財)石川県暴力追放運動推進センター田中茂義次長が暴力団離脱者の現状と協会企業に対する暴力団離脱者の社会復帰に対する協力要請が行われた。続いて県土木部からは、「一般競争入札(総合評価方式)におけるダンピング対策の変更」及び「担い手確保対策の推進」と題し県土木部竹俣隆一次長からパワーポイントを用いた説明が行われた。

引き続き協会関係の議題報告では次の通り説明がなされた。

#### 1. 30年度県予算の概要について

山岸参与より30年度当初予算の土木部関係抜粋について説明がなされた。

#### 2. 建設業をめぐる最近の話題について

辻専務理事より報道記事に基づく6件の話題について説明がなされた。

#### 3. 地区協会からの報告について

各地区協会より主な行事予定、業界事情、社会状況等について報告がなされた。

#### 4. 会員受注高調べ及び今後の行事予定について

事務局より昨年12月から本年2月までの受注高調べ及び4月以降の行事予定について説明が行われた。

#### 5. 地区協会新任職員の紹介

新年度に伴う地区協会の新任職員として、金沢協会中川富喜氏、鳳輪協会岩井 孝氏が紹介された。



## 平成30年度知事表敬

4月24日(火)午後3時50分から石川県建設業協会の吉光会長、小倉副会長、平櫻副会長、江口副会長、鶴山副会長、小柳土地改良委員長、橋本建築委員長、高田広報研修委員長、辻専務理事、山岸参与の10名で谷本知事を表敬訪問した。



吉光会長は新年度のあいさつと、6年連続の労務単価のアップや2月の大型補正予算のお陰で3月、4月の端境期は現場の仕事があり、会員一同大変ありがたく思っているとの感謝の意を伝えた。

懇談では、知事から、建設業における職人育成は大丈夫かなど人手不足の状況を聞かれた。また、金沢港や金沢城公園の鼠多門・鼠多門橋など東京オリンピックに向けた石川のインフラ整備の展望など活発な懇談をさせていただいた。

知事表敬に先立ち、土木部長(他土木部幹部)、農林水産部長、竹中副知事への新年度挨拶回りを行った。

## 平成30年春の人事異動に伴う県協会訪問者のご紹介

本年春の人事異動に伴い国及び県の関係機関から下記の方々が随行の方と共に県建設業協会を訪問され新任の挨拶を行われました。県協会では、会長及び副会長以下、各委員会の委員長他、事務局役員等が出迎え新任の挨拶を受けたほか、地域の実情や当面する問題点等を中心に和やかな懇談が行われました。

4月2日(月) 金沢河川国道事務所長	山田哲也 氏
4月5日(木) 北陸地方整備局総務部長	藤原啓志 氏
北陸地方整備局営繕部長	山田 稔 氏
北陸地方整備局建政部適正契約推進官	小柳力夫 氏
石川県土木部長	板屋英治 氏
4月6日(金) 石川労働局長	松竹泰男 氏
石川県農林水産部長	遠藤知庸 氏



金沢河川国道事務所長  
山田哲也 氏



北陸地方整備局  
総務部長  
藤原啓志 氏



北陸地方整備局  
営繕部長  
山田 稔 氏



北陸地方整備局  
建政部適正契約推進官  
小柳力夫 氏



石川県土木部長  
板屋英治 氏



石川労働局長  
松竹泰男 氏

# 石川県土木部だより

## 北陸新幹線沿線の屋外広告物規制のお知らせ

石川県土木部都市計画課

### 1 はじめに

本県は、白山や加賀・能登の海岸など多彩な地形が織りなす自然景観をはじめ、人々の営みが息づくのどかな里山や田園、落ち着いた風情を醸し出す伝統的な街並みなど優れた景観資源を有しています。

この多彩で魅力ある石川の景観を、県民共有の誇るべき財産として保全し、幾世代にもわたり、継承していくと同時に、新たな地域固有の景観を創出し、本県の魅力をさらに高めるため、平成20年に、従来の「景観条例」と「屋外広告物条例」を全国で初めて一本化した「いしかわ景観総合条例」を制定し、景観の保全・創出に取り組んできました。

### 2 これまでの屋外広告物の規制状況

屋外広告物は、街並みや道路の景観の一部を構成し、遠来のお客様がその土地から受ける印象にも大きく影響を及ぼすものです。

そのため、県では、北陸自動車道やのと里山海道などの多くの人々が利用する幹線道路沿線を第1種禁止地域に指定し、原則として屋外広告物の設置を禁止すると共に、営業活動に必要な自家用広告物や案内誘導広告物についても高さや面積、色彩等について一般地域より厳しい規制を行い、沿道景観の保全を図ってきました。(表-1)

区分	規制概要						備考
	自家用広告物 (店名等を自分の敷地に表示)		案内誘導広告物 (目的地までの距離等を表示)		左記以外の広告物 (他人の土地に商品名等を表示)		
	高さ	面積(1敷地)	高さ	面積(1基)	高さ	面積(1基)	
一般地域 許可地域)	13m	30㎡	10m	15㎡	10m	15㎡	
第1種禁止地域 (広域幹線道路、海岸沿線道路等)	7m	15㎡	4m	1.5㎡	設置禁止		色彩制限 (案内誘導は色数も規制)

表-1 規制概要

### 3 新幹線沿線における屋外広告物の規制

北陸新幹線金沢開業から3年がたちますが、新幹線の利用者数は在来線特急の約3倍を維持するなど、多くの方に利用されており。現在、2022年度の開業に向け、金沢以西区間の建設が進められておりますが、当区間はその大半が「明かり区間」であることから、新幹線車窓から加賀平野の田園、手取川、霊峰白山、木場潟など本県を代表する美しい景観(写真-1)を望むことができるようになります。このため県では、新幹線を利用する多くの方々に、石川らしい景観を楽しんでいただける



図-1 新幹線沿線の規制強化範囲

よう、本年4月1日から金沢市を除く（市条例で規制済み）新幹線沿線を新たに第1種禁止地域に指定し、車窓から望む景観の保全を図ることとしました。（図 - 1）



加賀平野



手取川



木場潟から望む白山

写真 - 1 新幹線車窓から望む代表的な景観

規制範囲は、郊外部については、良好な田園と山並みの景観を阻害する屋外広告物を規制するため、沿線両側500mとしました。

一方、市街地部については、地域の商業・産業活動に配慮しながら、新幹線目的の屋外広告物を規制するため、沿線両側100mとしました。（図 - 2）



図 - 2 規制強化範囲イメージ

#### 4 おわりに

今回の禁止地域の指定により新基準に適合しなくなる（既存不適格）広告物の改善に向け、金沢以西区間開業まで5年間の経過措置期間を設け、その間、県では、既存不適格となる屋外広告物の撤去及びエコサインへの改善費用の一部を助成します。今後とも、広告主、広告業者、県民の皆様のご理解・ご協力を頂きながら、新幹線沿線の美しい景観を保全し、多くの方々に新幹線車窓からも、本県の魅力を十分に堪能して頂きたいと考えています。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～
	施行(4月)		経過措置期間(5ヶ年)			経過措置期間 終了(2023年3月)
既存の屋外広告物 (許可済)	旧基準での更新が可能					新基準を適用
新たに設置する広告物	新基準を適用					

図 - 3 経過措置





現場打ち杭鉄筋かご挿入状況



コンクリート温度測定状況



土工掘削状況



埋戻し状況（仮設ヤード撤去）



コンクリート打設状況

現場代理人のコメント



現場代理人  
渡辺健一氏

この度は知事表彰という過大な賞をいただき、大変感謝しております。  
工事内容は、橋脚を構築する工事でしたが、現場条件が狭小なことから、冬季における施工であることからコンクリートの品質確保を重要視しました。  
現場では、安全に施工できる重機・材料配置を考慮し、掘削土にて施工ヤードを造成しました。品質管理では、コンクリート工に余裕を持った工程を作成し、打設日は寒中コンクリートのリスクを軽減できる日を選定しました。脱型時期は電子温度計を使用し、コンクリート内部温度を測定監視し、外気温との差が20以下（約2週間）になるのを確認し決定しました。  
工期中は天候にも恵まれ、無事工事を竣工する事が出来ました。これからもこの経験を生かし、より良い工事を目指したいと思います。  
最後になりましたが、本当に親身になって接して頂いた発注者の皆様、そして応援して下さいました地元住民の皆様、協力業者の皆様には深く感謝申し上げます。

## 雇用改善コーナー

### 工業系高校生等の富士教育訓練センター派遣事業について

雇用対策特別委員会（委員長 岡 昌弘）は、若手建設労働者の育成事業の一環として、建設業界に就職が内定している県内の高校生等を対象とした富士教育派遣センターへの派遣事業を実施した。

本年度事業は、東日本保証株式会社の御協力による「就職前準備研修」2日間を受講した後、従来の「小型移動式クレーン技能講習・玉掛け技能講習」または、「車両系運転技能講習」を受講する2つのグループに分かれ、資格取得を目指し、2月10日（土）より17日（土）までの7泊8日にかけて実施した。

以下は、先月号に引き続き、厳寒の富士教育センターでの研修体験を綴った受講者のレポートの抜粋第2弾となります。



入職企業 みづほ工業（株）

金沢市立工業高等学校 鎌崎竜也

- ・早く学生気分から脱皮するために、気持ちを切り替える。
- ・チーム思考訓練をもっとする。
- ・スピーチは、言葉7%、表情・態度93%と考えておく。
- ・「珠玉のパンセ」を毎日見て、より良い社会人を目指す。

入職企業 高田産業（株）

金沢市立工業高等学校 南 龍斗

良い社会人になるために、学生気分から脱皮すること、愛想をよくすること、人に好かれる自分作りをしようと思います。また、会社が求めることは、責任感・協調の精神・規律規則を守る・原価意識・人間関係・生活の自己管理だと言っていたので、それをできるように頑張りたいです。

入職企業 真柄建設（株）

金沢市立工業高等学校 井口ひなた

研修を通じて、学校で学んだ知識を生かして作業することの楽しさや、それだけでは足りないことが沢山ある事がわかりました。現場で実際に使われている言葉や道具を使って、クレーンの操作を自分で行っているのは凄く不思議な感覚だったけど、学んだ知識をフル稼働させて無事に資格試験に合格できたので良かったです。来年度から現場に出て仕事する時は、確認や声がけを怠らずに、今回の研修で学んだ安全確認の方法を実践しようと思いました。



入職企業 加越建設(株)

石川県立小松工業高等学校 中野拓真

小型移動式クレーンと玉掛けの実習を経験して、どちらも安全に気を付けないといけないと学びました。具体的には、吊り荷には近づかないことや、指差し呼称を大きな声ですることが大事だと思いました。事故が起きるとケガや最悪命を落としてしまうこともあるので、自分がどんな作業をする時でも、安全第一を意識したいと思いました。

入職企業 (株)豊蔵組

石川県立小松工業高等学校 天勝美麗

建設業に入職してからも勉強すると思うけど、今回の研修に来て、前の自分から一回りも二回りも成長できたと思います。今回の研修をしていなかったら出来なかった経験があったと思うので来て良かったです。この研修を通して色々学ぶことができました。また、働く際に、今回の研修を糧にして、さらに精進し、色々な事を学びながら仕事に役立てていきたいです。

入職企業 (株)吉光組

石川県立小松工業高等学校 源田怜司

自分達の仕事は、職人さん達をまとめて、1つの建築物を作ることなので、自分は色々な人達と話せるコミュニケーション能力をこれからつけていきたいです。この研修では色々な人がいましたが、中々自分から話しかけることができず、今の自分に足りてないものはそこだと感じました。これからそれを克服する機会は沢山あると思います。一日でも早く克服できるように挑戦していきたいです。そして、今一緒にいる仲間とそれぞれの場所で頑張っていきたいです。

入職企業 高田産業(株)

金沢市立工業高等学校 中杉光稀

この研修を通じて、作業を実際に行ってみないと覚えることは難しい。また、メモして覚えるよりも頭で覚えることが、今後会社に入ってから大切だと気が付いた。自分はまだまだ社会人への切り替えができていなかった。自分の体調管理や、朝の早起き等、社会人になれば親に頼ることはできないので、学生から社会人へ気持ちを切り替えていかなければならないと気付いた。

入職企業 (株)ウエストサークル

石川県立小松工業高等学校 森山敦紀

挨拶や返事などを、大きな声で言うように心がけていこうと思いました。挨拶や返事は、現場でも勿論大事になってくるので、気を付けていこうと思ったし、危険なことがあった際に、とっさに危ないという時にも大事になってくると思いました。外での実習や作業では安全のために、自分達が使う道具や機械を点検して、危険を防ぐことを学びました。これからも安全には気を付けていきたいと思いました。



入職企業 (株)江口組

石川県立小松工業高等学校 酒井夢大

今後についての決意として、掲げることが2つあります。一つ目は、「人財」と呼ばれる人になりたいです。そのためには、沢山の苦労と喜びを味わい、経験し、「君がいないと仕事が成り立たない」と言われるような人財になりたいです。もうひとつは「笑顔と100%の仕事をする事」です。今まで、中途半端にやってきた事は、建設業界ではなにも通じないので、与えられた仕事を100%でこなし、どんな時でも笑顔を絶やさずに頑張ります。

### 地元建設業界の景気

～建設業景況調査 石川県版 平成29年度第4回より～

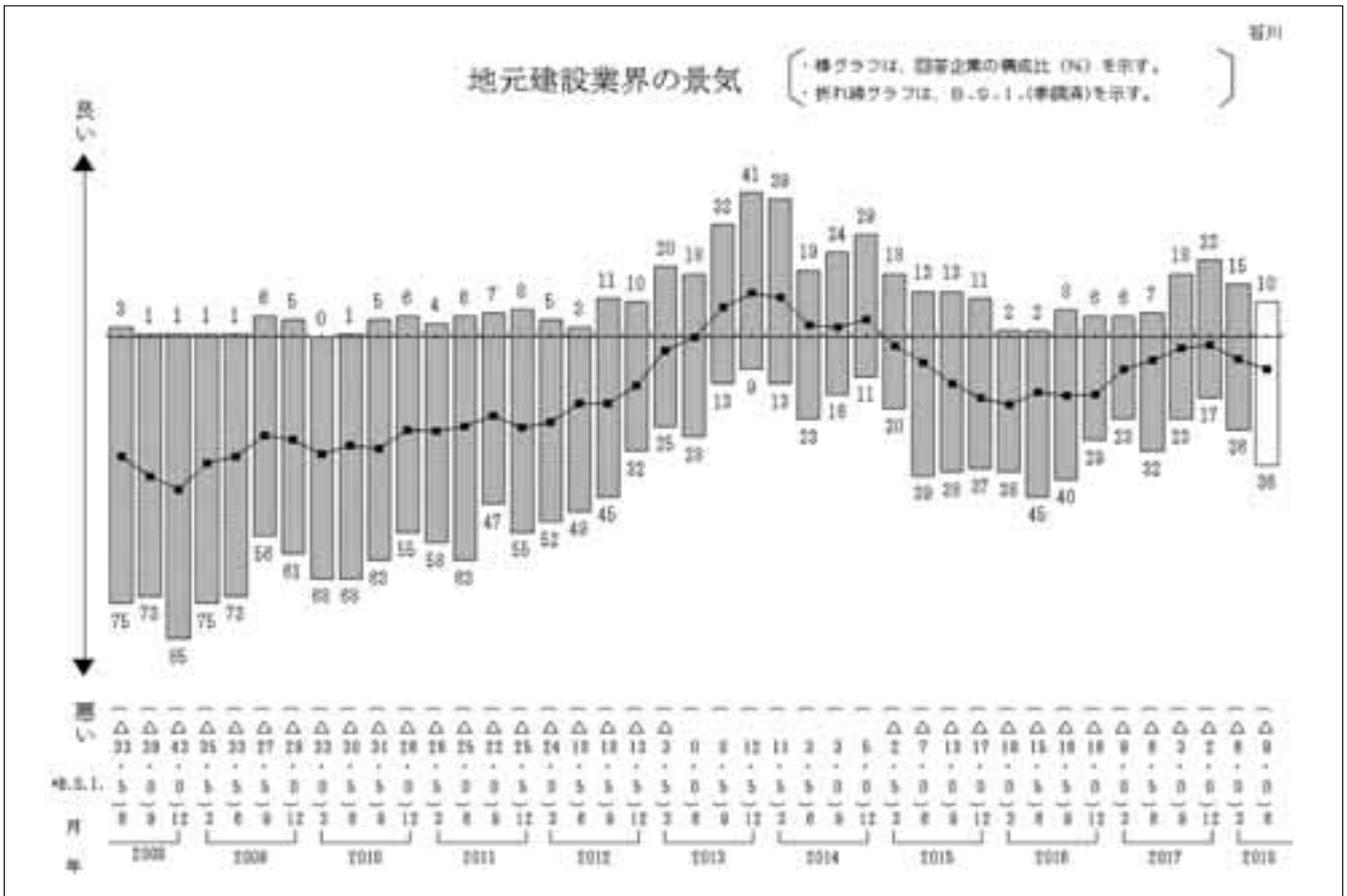
東日本建設業保証(株) 石川支店

今 期	<b>悪い傾向がやや強まっている。</b>
	「悪い」傾向が、平成27年3月以降、3年続いている。 B.S.I.値は 6.0 (前期 2.0) となっており、悪い傾向がやや強まっている。

「今期」:平成30年1月～3月 実績

来 期	<b>悪い傾向がやや強まる見通し。</b>
	「悪い」と回答する企業が3割を超え、「悪い」傾向が続く見通し。 B.S.I.値は 9.0 (今期 6.0) となっており、悪い傾向がやや強まる見通し。

「来期」:平成30年4月～6月 見通し



**【B.S.I.の見方】**  
 B.S.I.(ビジネス・サーベイ・インデックス=景況判断指数)は、「良い」「悪い」など意識調査の回答数の構成比から全体の趨勢を判断するものです。  
 以下の計算式により数値化して求められます。  

$$\frac{(\text{「良い」と回答した企業割合} - \text{「悪い」と回答した企業割合}) \times 1/2}{}$$
 「変わらず」は除いて計算

## 会員リレーコーナー

173 吉田道路株式会社  
(所在地：金沢市豊穂町541番地)



社章

当社は、昨年1月で設立50年を迎えました。

吉田道路株式会社は、アスファルト舗装された道路がほとんどない時代から「これからの時代に必要なもの」という信念を持っていた創業者・吉田吉郎が設立した会社です。

吉郎は陸軍中野学校を出て、戦後この舗装業界に将来性を見出したのです。創業からは、紆余曲折はありましたが、50年前に吉田道路株式会社が誕生しました。

私も、社長になり2年半経ちました。急な社長への就任でしたが、右も左も解らない中で社長として何とかここまで来てこられたことは、業界の皆様、お取引先の皆様、社員のお蔭であり、感謝の気持ちでいっぱいであります。これからも、この感謝という言葉を中心に仕事に励んでいきたいと考えております。

先代の社長たちは、舗装の仕事が減ってきている中で、建築工事、土木工事等関連する事業に少しではありますが、拡大してきております。

もちろん、多角化は必要ですが、関連する事業を着実に拡大することが大切だとも思っております。足元をしっかりと耕すことしか出来ませんので、今ある仕事を一生懸命に行っていきたいと考えており、また、新しい仕事もその中から生まれてくるものと思っております。

従来のような舗装の仕事は減ってきておりますが、道路自体に対する市民の意識・要望は高く、道路の整備・付加価値を求めています。また、道



社屋

路全般の維持管理の民間委託も予想されます。

これらのニーズに取り組み、技術力・開発力を向上させることが求められています。ICT施工の導入にはじまり、AIを利用した機械・工事への対応も課題だと思っております。厳しい環境は続いておりますが、皆様の教えを乞いながら、社員と共に頑張っていきたいと日々考えております。

最近、先々代の社長である夫、雅敏が言っていた「社員が財産であるから、大切に下さい。社員のおかげで私たちがいるのだ。」という言葉思い出しております。また、夫はキリスト教徒ではありませんが、卒業した大学が神戸のキリスト教の関係の学校であったためかもしれませんが、聖書の話もしていました。話というのは、ブドウ畑を耕して宝物を見つける話です。

「怠け者の男がいたので、神様が、男のブドウ畑に宝物が埋まっていると話したら、男は、必死になってブドウ畑を掘りました。全部掘っても宝物は見つかりません。男は、神様に文句を言いましたら神様は、掘り耕したために、たわわに実ったブドウを指し示しました。」という話です。仕事をしている中で、ひとつひとつの言葉が大きな指針になっております。

最後に、私も女性でありますので、人口減少する社会において女性の活躍の場が増えることが社会の活性化に繋がると考えています。舗装業界においても、ICT施工等のコンピューターの導入により、体力の要る仕事が少なくなり、女性の活躍が多くなることを大いに期待しております。

今回は株式会社上出組 代表取締役 上出清孝さんにバトンをお渡ししますので、よろしく願いいたします。

(吉田道路株式会社 代表取締役 吉田壽賀子)

# 今月の「輝き！」さん

No. 38



株式会社戸田組

なおひと  
北村直土さん

業 種：土木技師  
経験年数：18年  
年 齢：36歳

七尾市府中町の(株)戸田組の事務所に今月の輝きさんの北村直土さんを訪ねました。

- あなたの履歴とこの会社への入社動機について教えてください。

私の生まれ育ったのは宝達志水町今浜で、兄妹は妹が一人です。小中学は地元の学校に通い高校は羽咋工業高校で建築を学びました。卒業と同時に能登方面の建設会社に就職をするつもりでしたので、この地域の建設会社の求人票を7社ばかり集め、その用紙を裏返しに並べ、クジ引きで選んだのが現在の会社です。当時は就職氷河期と言われた時代でしたが、建設関係の求人は、それほど影響がなく、クジ引きが出来るほど求人がありました。その後建設関係にも不況が訪れ、私のクジの対象となった会社が4社余り倒産しています。当時はインターネット等もない情報不足の中、運だけで就職先を決めました。

- あなたの会社について教えてください。

会社は土木、建築、港湾などを手掛ける社員数48名の総合建設会社です。代表は戸田 充46歳で五代目と聞いています。私が入社後暫くの間は建築部は小規模な部門でしたが、今では学校などの大型建築物を手掛ける等土木部門に匹敵する規模に成長しました。関連会社の設立等会社は着実に成長しており、今更ながらクジ運が良かったことに感謝しています。

- 建築から土木への転向、そして土木技師として18年どんなことを経験しましたか？

高校では建築を学んでいましたが、スケールの大きな土木にアコがれていました。入社し2年ぐらいは土木作業員として仕事を覚え、25歳で2級の土木技師の資格、30歳で1級の資格を取り今は現場監督として現場を任されるようになりました。これまで道路や下水道工事、農業用のため池、法面工事や、港湾での護岸工事等色々な土木工事に従事しました。

中でも大変だったのは、私が25歳の時(平成19年3月)発生した能登半島地震でした。ツインブリッジが壊れその応急復旧のため夜間工事が続きました。暗くなってから出勤し夜明けには帰るといった過酷な勤務が続き、毎日ヘトヘトでした。

- あなた独自の仕事に対するこだわりがあると聞きましたが？

現場技能者の仕事を覚えるため、また現場技能者に欠員が生じた場合に備え私が代役を務め作業効率を確保するため、現場作業に必要な10種類以上の資格を取得しています。中でも港湾作業のための船舶免許、移動式クレーン免許などの特異な資格も取得しています。また、仕事に必要な道具にこだわるタイプで自分でマイ工具を購入し現場作業を楽しんだりしています。

- 仕事を進めるうえでの心がけや将来に対する夢について教えてください。

人なつっこい性格が私の特徴です。打ち解けることで職人さんが考えていることや、ノウハウを聞き出すことができます。

夢は、他社からも囑望されるような技術者になることです。まだまだですがそのためにも先輩技術者の技を盗みたいと思います。

- 結婚していると聞きましたが、余暇はどうしていますか？

現在妻と共に七尾市内に住んでいます。もうすぐ子どもを出産の予定です。余暇は出産のための準備と8年ほど前から始めた船釣りです。七尾湾は変化に富んだ良い漁場がたくさんあります。マイ工具同様釣り道具にもこだわっています。

中学・高校ではテニスで活躍したそうです。常に技術の向上を念頭に、こだわりをもって仕事に取り組む姿勢に匠のような気質を感じました。このような技術者に成長することを確信し、クジの女神は現在の会社を紹介したのだと思います。

HELL OF FIVE  
FIREMAN

## けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

## 協会だより

### 委員会の開催

#### 広報・研修委員会

##### 企画部会の開催

企画部会（部会長 高田直人）は、4月16日（月）石川県建設総合センター401会議室において開催された。会議に先立ち本年度より県協会職員となった山岸 勇（前石川県土木部長）、米田和正（前羽咋農林事務所長）及び技術研修所長代行辻 啓一（協会専務理事）の紹介と挨拶が行われた。



部会では高田部会長が冒頭の挨拶を行い次の通り議題の審議・報告が行われた。

1. 協会報5月号について  
編集計画について説明がなされた。
2. 新企画記事「おすすめ県政出前講座」について  
会員向けに委員会が推薦する県政出前講座の実施要領について説明がなされた。
3. 研修所からのお知らせとして次の事項が報告された。  
平成30年度研修事業計画  
平成30年度新入社員研修の実施結果  
平成30年度1級土木施工（学科）受験準備講習開催予定について  
第40回測量コンテストの開催予定について
4. 研修旅行について  
6月7日より実施の研修旅行の内容について説明がなされた。

### 建設技術研修所

##### 平成30年度新入社員研修の開催

（一社）石川県建設業協会、（一社）金沢建設業協会、東日本建設業保証（株）の共催による平成30年度新入社員研修が70名（うち女性16名）の参加で4月10日（火）から12日（木）までの3日間の日程で実施された。

#### ・開講式

4月10日（火）午前9時から石川県建設総合センター7階大ホールにて行われた開講式には、高田直人石川県建設業協会広報・研修委員長、長坂知通金沢建設業協会総務委員長、安藤路也東日本建設業保証（株）石川支店長から新入社員へ激励のご挨拶を頂いた。

#### ・研修

4月10日（火）の午前の講義は辻 啓一石川県建設業協会専務理事が建設業の現状と役割をテーマに業界と仕事の内容等を紹介。瀬戸裕子 and YUU 代表・キャリアコンサルタントが社会人の基本・心構え、職業人に求められる条件、基本マナーの実際等について講義を行い、午後からは瀬戸氏の指導でグループコミュ

ニケーションの実習、自己紹介が行われた。グループコミュニケーションの実習では受講者が12チームに分かれ、タワー建設に挑んだ。受講生はグループ内で意見を出し合い制限時間内に決められた枚数の紙とテープを使いタワーを建設し強度と高さを競った。

終了後のアンケートでは「とても分かりやすい研修だった。」「社会人としての大切な部分が再認識できてよかった。」などと、高い評価を頂いた。



高田広報・研修委員長の挨拶



瀬戸裕子氏の講義・実習

#### ・自衛隊生活体験訓練

4月11日(水)から12日(木)の1泊2日の日程で行われ、26名(うち女性2名)が参加した。金沢市野田町の陸上自衛隊金沢駐屯地に入隊、自衛隊隊員の生活体験と、集団行動に関する基礎動作等を訓練した。11日未明には約20kmの夜間行進を行うなど、受講者にとっては厳しくかつ貴重な体験となった。



陸上自衛隊金沢駐屯地にて参加者26名

## 第40回測量コンテストの開催案内

第40回測量コンテストを、下記の要項により開催します。開催場所は、「奥卯辰山健民公園センター」とします。多数の方々が参加されますようご案内申し上げます。また、本年も各地区協会代表による団体戦を行いますので各地区協会には代表チームの選定をお願いいたします。なお、このコンテストは、CPD・CPDS(4ユニット)対象予定です。

### 開催要項

名称	第40回(平成30年度)測量コンテスト	
目的	測量の基礎技術について競い合い、技術の向上を目指すとともに会員相互の親睦をはかる。	
主催	一般社団法人石川県建設業協会	
共催	一般社団法人石川県測量設計業協会(講師・指導・審査の担当)	
開催日時	平成30年6月13日(水)午前9時~午後2時(小雨決行) 雨天の場合6月15日(金)に順延します。	
開催場所	奥卯辰山健民公園センター(金沢市若松町地内) TEL:(076)264-0395)	
競技区分		

競技区分	競技種目	参加チーム数
各地区協会代表による団体戦	水準測量	9チーム (各地区協会1チーム)
	トラバース測量	約20チーム
企業チームによる個人戦	トラバース測量	10チーム

トラバース測量は先着10チームで締め切ります。

締切日 5月16日(水)

申し込み (一社)石川県建設業協会 建設技術研修所 担当:本多  
TEL:(076)242 1161 FAX:(076)241 9258  
E-mail:honda@ishikenkyo.or.jp

## 石川県土木施工管理技士会だより

### 正副会長会議の開催

石川県土木施工管理技士会(会長 江口介一)は、平成30年度の正副会長会議(第一回)を4月11日(水)に石川県建設総合センターで開催した。会議は、下記の議題について審議を行った。

#### <審議内容>

平成29年度事業報告及び収支決算について

- ・諸会議の開催状況、会員数、事業活動状況について内容を確認し了承した。
- ・収入及び支出内容が適正であることを確認した。

平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

- ・事業計画については、事務局提案で実施することを確認し了承した。予算については、経費削減を務めながら、活動を行うとした。

「役員会」及び「総会・講演会」の日程について

#### 1) 役員会日程について

平成30年度第1回役員会を5月17日(木)にホテル日航金沢で開催することとした。

#### 2) 総会・講演会日程について

「石川県土木施工管理技士会総会・講演会」を6月5日(火)13時30分から石川県地場産業振興センターで開催することとした。

役員改選について

- ・役員改選年度であり、役員改選について議論した。

## 不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度  
自動車保険

お問い合わせは.....



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20

中屋三井ビル2F

申し込み (一社)石川県建設業協会 建設技術研修所 担当:本多  
TEL:(076)242 1161 FAX:(076)241 9258  
E-mail:honda@ishikenkyo.or.jp

## 石川県土木施工管理技士会だより

### 正副会長会議の開催

石川県土木施工管理技士会(会長 江口介一)は、平成30年度の正副会長会議(第一回)を4月11日(水)に石川県建設総合センターで開催した。会議は、下記の議題について審議を行った。

#### <審議内容>

平成29年度事業報告及び収支決算について

- ・諸会議の開催状況、会員数、事業活動状況について内容を確認し了承した。
- ・収入及び支出内容が適正であることを確認した。

平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

- ・事業計画については、事務局提案で実施することを確認し了承した。予算については、経費削減を務めながら、活動を行うとした。

「役員会」及び「総会・講演会」の日程について

#### 1) 役員会日程について

平成30年度第1回役員会を5月17日(木)にホテル日航金沢で開催することとした。

#### 2) 総会・講演会日程について

「石川県土木施工管理技士会総会・講演会」を6月5日(火)13時30分から石川県地場産業振興センターで開催することとした。

役員改選について

- ・役員改選年度であり、役員改選について議論した。

## 不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度  
自動車保険

お問い合わせは.....



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20

中屋三井ビル2F

## 業 界 時 報

労働災害発生状況  
～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（平成30年分）

平成30年3月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	3	( 1 ) 3	5	( 1 ) 11	6	198
小松監督署	3	( 1 ) 2		( 1 ) 5	5	86
七尾監督署	1	1	1	3	6	26
穴水監督署		( 2 ) 2		( 2 ) 2	1	17
計	7	( 4 ) 8	6	( 4 ) 21	18	327
前年同期	4	( 6 ) 12	2	( 6 ) 18	18	211

( )内は木建工事 内は死亡者数

## 平成29年度 建設工事受注高調（元請）

民 間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%
1月分	102	364	28.0%	952	1,145	83.1%	1,054	1,509	69.8%
2月分	56	385	14.5%	1,678	941	178.3%	1,734	1,326	130.8%
3月分	352	762	46.2%	3,341	7,298	45.8%	3,693	8,060	45.8%
年度累計	3,887	5,374	72.3%	29,611	28,768	102.9%	33,498	34,142	98.1%
27年度累計		3,179	122.3%		31,189	94.9%		34,368	97.5%
26年度累計		3,896	99.8%		22,196	133.4%		26,092	128.4%

官 公 庁

	土 木			建 築			計		
	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%
1月分	1,965	3,325	59.1%	750	191	392.7%	2,715	3,516	77.2%
2月分	2,591	5,485	47.2%	945	591	159.9%	3,536	6,076	58.2%
3月分	9,684	11,100	87.2%	1,057	1,243	85.0%	10,741	12,343	87.0%
年度累計	43,919	57,834	75.9%	19,602	12,794	153.2%	63,521	70,628	89.9%
27年度累計		51,196	85.8%		14,134	138.7%		65,330	97.2%
26年度累計		50,923	86.2%		21,835	89.8%		72,758	87.3%

合 計（民間 + 官公庁）

	29年度	28年度	%
1月分	3,769	5,025	75.0%
2月分	5,270	7,402	71.2%
3月分	14,434	20,403	70.7%

	29年度	28年度	%
年度累計	97,019	104,770	92.6%
27年度累計		99,698	97.3%
26年度累計		98,850	98.1%

随 筆

## 「速記とAI(人工知能)」

東日本建設業保証(株) 石川支店 支店長 安藤路也

学生時代の4年間、邦文速記研究会というサークルに所属していました。1931年以降の伝統を誇る大学公認サークルで、1年生から4年生まで男女半々、約80名の学生が、まじめに速記に取り組んでいました。全日本大学速記競技大会なども開催され、大学同士で覇を競っていました。現在は所属のメンバーは約30名に減ったようですが、元気に活動しているようです。

速記とは、話された言葉をありのままにすぐさま書き取るため、速記文字という特殊な文字を使って文字を早く書く技術です。速記文字は、書き易さを優先しており、知らない人には、ミミズの運動会にしか見えません。1分間で320文字を書き取る能力があれば、公益社団法人日本速記協会の1級速記士を取得できます。アナウンサーが流暢に話すスピードは、1分間に約400字と言われてしますので、これを書き取れるようになればプロといえるでしょう。私はあまり活動には熱心ではなかったため、大会の選手にはなれませんでした。速記を使って大学の講義をノートにとったり、誰にも読まれたくない記録等は速記文字を使ったりして、それなりに活用していました。全くの余談ですが、4年間在籍して得た一番大きいものは、今でも付き合いのあるかけがえのない友人たちと愛する妻です(笑)。

日本の速記の歴史は古く、1882年、田鎖綱紀(たくさり こうき)が、日本語速記法を考案して以来、多くの人によって速記符号の研究がなされ、中根式、早稲田式、衆議院式、参議院式という、現在4大方式と呼ばれる速記方式が生まれました。

テレビ中継等で皆様も見かけたことがあるかもしれない国会の速記は、1890年の帝国議会開設と同時に貴衆両院で採用され、今日に至ります。第1回の国会より完全な会議録が残っているのは、先進国の中では日本だけだそうです。

1918年には両院に速記者育成機関が設けられ、戦後はそれぞれの養成所で人材が育成されましたが、両院ともに2006年度で廃止され、会議録作成も担当職員が音声と映像を見ながらパソコンで入力する仕組みに変更されました。現在では手書き方式は、本会議や予算委員会など速報性が求められる会議に限られているようです。最近では、音声を自動的に文字化する「音声認識システム」が多く導入されていますが、このシステムも完全ではなく、人の話し言葉は曖昧な部分も多く、文の区切り等も不明瞭なことから、最終的には人間が文章をチェックし、修正しているとのこと。

ところで、2015年に野村総合研究所が発表した、「日本の労働人口の約49%が、技術的には人工知

能やロボット等により代替できるようになる可能性が高い」という試算結果は、衝撃的でした。この研究結果において、芸術、学問など抽象的な概念を整理・創出するための知識が要求される職業、他者との協調や、他者の理解、説得、ネゴ



シエーション、サービス志向性が求められる職業は、人工知能等での代替は難しい傾向がある一方、必ずしも特別の知識・スキルが求められない職業に加え、データの分析や秩序的・体系的操作が求められる職業については、人工知能等で代替できる可能性が高い傾向が確認できました。最近のAI(人工知能)の進化は目覚ましく、先ほどの速記を使った人による会議録作成も、やがてはAIが全ての作業をこなす日がくるのかもしれませんが。

一方、建設業界においては、国土交通省がIoT(モノのインターネット)等を使って施工現場から収集されるビッグデータを、AIを用いて解析し、調達、施工管理等の高度化の実現を図る研究を進めており、また、大手ゼネコンにおいては、AIとBIMを活用して施工計画を自動的に作成するシステムを開発するなど、AIを導入することに対して前向きです。

ただ、テクノロジーがどのように進化しようとも、最後に判断するのは人間であることに変わりはなく、私たちは、これまで以上に努力して想像力、感性といった、機械にはない人固有の能力を高めていくことが求められているように感じます。生きにくい世の中と考えるか、チャンス到来と捉えるかは人それぞれでしょうが、私は人間の可能性、底力を信じたいと思っています。

以上

## 経 歴

氏 名	安藤 路也(あんどう みちや)
出身地	東京都町田市
生年月日	昭和40年4月3日生まれ(53歳)
略 歴	昭和63年4月 東日本建設業保証(株)入社 平成25年1月 新宿支店次長 平成30年4月 石川支店長
家 族	妻・子供2人を東京に残し、単身赴任中

# 会員消息

今回届け出があったのは次の3件でした。

変更

会社名	変更前	変更後	変更年月日
	代表者	代表者	
日本海建設株式会社	小柳 正彦	小柳 誠	平成30年4月1日
白山建設株式会社	吉本 修一	田中 志人	平成30年2月26日
株式会社干場建設	干場 和宏	藤瀬 敏彦	平成30年4月1日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

# 県協会からのお知らせ

平成17年4月から県協会事務局で勤務された宮下克己相談役（技術研修所担当）及び平成26年4月から勤務された中村義春常務理事（土地改良委員会担当）のお2人が本年3月をもって退職されました。

これに伴い本年4月から、山岸 勇（前石川県土木部長）及び米田和正（前羽咋農林事務所長）のお2人が参与として着任されましたのでご紹介します。



この4月から、石川県建設業協会にお世話になっております山岸です。  
 38年間石川県土木部職員として、地域の活性化、安全・安心の確保のため、主に街づくり、道づくりを中心にインフラ整備や維持管理に携わってまいりました。  
 現在、働き方改革、生産性向上など地域建設業を取り巻く環境は大きく変化しております。  
 今後は、建設業協会の一員として、これまで培ってきた知識や経験を活かして、石川県建設業の社会的、経済的地位の向上と、健全な発展に向けて尽力してまいります。  
 建設業協会の皆様方のご指導をよろしくお願いいたします。

山岸 勇



石川県建設業協会の皆様、この4月からお世話になっております米田です。  
 前職では、38年間、県内の能登方面など各地で土地改良事業に携わり、特にほ場整備を中心とした農業生産基盤整備工事の計画から実施まで全般に渡り行っておりました。  
 4月から一月程度過ぎましたが、今までの経験だけでは足りないと思え、頑張りを加え、当建設業協会の一員として、皆様方と共に、石川県の建設業の発展、特に人材育成などに、力を注ぎたいと思います。ご指導の程よろしくお願いいたします。

米田 和正

## 平成30年5月行事予定

- 5月 3日(木) 憲法記念日  
(パークアランドライド 7:30~18:30)
- 4日(金) みどりの日  
(パークアランドライド 7:30~18:30)
- 5日(土) こどもの日  
(パークアランドライド 7:30~18:30)
- 7日(月) 建災防 正副支部長会議  
協会正副会長会議・組合正副理事長会議  
土木委員会役員会
- 8日(火) 協会監査  
組合監査
- 9日(水) 北陸防災連絡会議幹事会〔整備局〕  
(金沢河川国道事務所)
- 10日(木) 高等学校就職問題連絡協議会〔労働局〕  
(石川県庁)
- 金沢協会 総会
- 11日(金) 石川県土木施工管理技士会監事会

- 13日(日) 世界の風の祭典「あるいてみよう のと里山海道」〔中能登土木〕 (のと里山海道)  
自由民主党石川県第一選挙区支部総務会 (金沢東急ホテル)
- 14日(月) 理事会 建災防  
理事会 組合  
理事会 協会
- 15日(火) ICT活用講習会(入門者クラス)〔整備局〕  
青年委員会 (加賀市)
- 16日(水) ICT 建機デモセンタ粟津開所式  
(コマツ粟津工場敷地内)
- 17日(木) 石川県土木施工管理技士会役員会  
(ホテル日航金沢)  
石川県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会 (石川県庁)
- 18日(金) 全建協連 総会 (東京 東海大学校友会館)
- 20日(日) 手取川・梯川総合水防演習リハーサル  
(能美郡川北町(辰口橋下流左岸河川敷))
- 22日(火) 建設業経理研究機構研修会  
石川県建築士会定期総会 (ホテル金沢)

# 会員消息

今回届け出があったのは次の3件でした。

変更

会社名	変更前	変更後	変更年月日
	代表者	代表者	
日本海建設株式会社	小柳 正彦	小柳 誠	平成30年4月1日
白山建設株式会社	吉本 修一	田中 志人	平成30年2月26日
株式会社干場建設	干場 和宏	藤瀬 敏彦	平成30年4月1日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

# 県協会からのお知らせ

平成17年4月から県協会事務局で勤務された宮下克己相談役（技術研修所担当）及び平成26年4月から勤務された中村義春常務理事（土地改良委員会担当）のお2人が本年3月をもって退職されました。

これに伴い本年4月から、山岸 勇（前石川県土木部長）及び米田和正（前羽咋農林事務所長）のお2人が参与として着任されましたのでご紹介します。



この4月から、石川県建設業協会にお世話になっております山岸です。  
 38年間石川県土木部職員として、地域の活性化、安全・安心の確保のため、主に街づくり、道づくりを中心にインフラ整備や維持管理に携わってまいりました。  
 現在、働き方改革、生産性向上など地域建設業を取り巻く環境は大きく変化しております。  
 今後は、建設業協会の一員として、これまで培ってきた知識や経験を活かして、石川県建設業の社会的、経済的地位の向上と、健全な発展に向けて尽力してまいります。  
 建設業協会の皆様方のご指導をよろしくお願いいたします。

山岸 勇



石川県建設業協会の皆様、この4月からお世話になっております米田です。  
 前職では、38年間、県内の能登方面など各地で土地改良事業に携わり、特にほ場整備を中心とした農業生産基盤整備工事の計画から実施まで全般に渡り行っておりました。  
 4月から一月程度過ぎましたが、今までの経験だけでは足りないと思え、頑張りを加え、当建設業協会の一員として、皆様方と共に、石川県の建設業の発展、特に人材育成などに、力を注ぎたいと思います。ご指導の程よろしくお願いいたします。

米田 和正

## 平成30年5月行事予定

- 5月 3日(木) 憲法記念日  
(パークアランドライド 7:30~18:30)
- 4日(金) みどりの日  
(パークアランドライド 7:30~18:30)
- 5日(土) こどもの日  
(パークアランドライド 7:30~18:30)
- 7日(月) 建災防 正副支部長会議  
協会正副会長会議・組合正副理事長会議  
土木委員会役員会
- 8日(火) 協会監査  
組合監査
- 9日(水) 北陸防災連絡会議幹事会〔整備局〕  
(金沢河川国道事務所)
- 10日(木) 高等学校就職問題連絡協議会〔労働局〕  
(石川県庁)
- 金沢協会 総会
- 11日(金) 石川県土木施工管理技士会監事会

- 13日(日) 世界の風の祭典「あるいてみよう のと里山海道」〔中能登土木〕 (のと里山海道)  
自由民主党石川県第一選挙区支部総務会 (金沢東急ホテル)
- 14日(月) 理事会 建災防  
理事会 組合  
理事会 協会
- 15日(火) ICT活用講習会(入門者クラス)〔整備局〕  
青年委員会 (加賀市)
- 16日(水) ICT 建機デモセンタ粟津開所式  
(コマツ粟津工場敷地内)
- 17日(木) 石川県土木施工管理技士会役員会  
(ホテル日航金沢)  
石川県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会 (石川県庁)
- 18日(金) 全建協連 総会 (東京 東海大学校友会館)
- 20日(日) 手取川・梯川総合水防演習リハーサル  
(能美郡川北町(辰口橋下流左岸河川敷))
- 22日(火) 建設業経理研究機構研修会  
石川県建築士会定期総会 (ホテル金沢)

- 5月24日(木) 会報編集委員会  
青年海外協力隊を支援する会 正副会長会議  
石川県道路整備促進協会幹事会 (石川県庁)
- 25日(金) 通常総会 建災防  
定時総会 組合  
通常総会 協会
- 26日(土) 手取川・梯川総合水防演習  
(能美郡川北町(辰口橋下流左岸河川敷))
- 29日(火) 事務局打合せ  
広報・研修委員会 (金沢市内)
- 30日(水) 全建 理事会(13:20) 表彰式・総会(14:30)  
(東京 経団連会館)  
全建 70周年記念パーティー  
(東京 経団連会館)  
全国技士会連合会定時総会・表彰式  
(東京 アルカディア市ヶ谷)  
不正軽油撲滅対策協議会 総会〔県総務部〕  
(石川県庁)
- 31日(木) 暴力追放推進定時評議会 (県警本部)

平成30年6月以降の行事予定

- 6月 4日(月) 建産連 正副会長会議  
正副会長会議  
常任理事会
- 5日(火) 石川県土木施工管理技士会通常総会・講演会  
(石川県地場産業振興センター)
- 6日(水) 石川県経営者協会 創立70周年記念祝賀会  
(ANAクラウンプラザホテル金沢)
- 7日(木) 金沢港振興協会 通常理事会  
(金沢ニューグランドホテル)  
広報・研修委員会 視察(～9日) (東北)
- 13日(水) 測量コンテスト(予備日:15日)  
(奥卯辰山健民公園)

- 6月14日(木) 北陸地方整備局との意見交換会 (ホテル日航金沢)
- 18日(月) 青年海外協力隊を支援する会 理事会  
(JICA北陸)
- 金沢港振興協会 定時総会 (金沢市内)
- 21日(木) 建産連 理事会・総会
- 25日(月) 東日本建設業保証 株主総会・取締役会  
(東京 本社ビル)
- 全国建設産業団体連合会 総会
- 26日(火) 全建協連 専務・事務局長会議  
(東京 東海大学校友会館)
- 29日(金) 青年海外協力隊を支援する会 総会  
(石川県地場産業振興センター新館)
- 7月 3日(火) 正副会長会議
- 10月16日(火) 北陸建設業協会地域懇談会 (ホテル日航金沢)

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- 協会報の発行 毎月1日発行  
(毎月10日前後納入、会員送付)
- 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝(図書券)贈呈

(注) お問い合わせは、  
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当  
TEL 076-242-1161(代)内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 5月 8日(火) 青年：幹事会
- 10日(木) 定時総会
- 16日(水) 土木：役員会
- 18日(金) 女性活躍推進取組宣言提出
- 27日(日) クリーンビーチいしかわinかなざわ
- 31日(木) 土木：視察研修(～6/3まで)

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 5月 9日(水) 協会・組合 定時総会
- 11日(金) 土木委員会 総会
- 建築委員会 総会
- 23日(水) 献血奉仕活動

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 5月 3日(木) 「はたらくるまがやってくる」イベント協力
- 9日(水) 定時総会
- 15日(火) 監理技術者講習
- 25日(金) 土木技術部会総会
- 31日(木) 道路アドプト活動

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 5月16日(水) 定時総会

河北郡市土建協同組合

《行事予定》

- 5月 9日(水) 通常総会議案審議役員会
- 17日(木) 通常総会

(一社)羽咋郡市建設業協会

《行事予定》

- 5月22日(火) 定時総会

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 5月10日(木) 監事会
- 11日(金) 理事会
- 18日(金) 通常総会

《お知らせ》

- 6月 7日(木) 七鹿親睦ゴルフコンペ
- 20日(水) 研修視察(～22日)

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 5月10日(木) 鳳輪協会「定時総会」  
建災防鳳輪分会「定時総会」
- 15日(火) 監理技術者講習会
- 16日(水) 奥能登土木委員会  
「監事会」「役員会」「通常総会」
- 28日(月) 奥能登土木委員会・建災防  
鳳輪分会「安全衛生講習会」

《お知らせ》

- 6月 8日(金) 鳳輪協会「正副会長会議」「理事会」  
「奥能登土木事務所懇談会」

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 5月11日(金) (一社)珠洲建設業協会 定時総会  
建災防石川支部 珠洲分会 通常総会
- 16日(水) 奥能登土木委員会 会計監査
- 奥能登土木委員会 理事会・通常総会
- 28日(月) 安全衛生講習会

- 5月24日(木) 会報編集委員会  
青年海外協力隊を支援する会 正副会長会議  
石川県道路整備促進協会幹事会 (石川県庁)
- 25日(金) 通常総会 建災防  
定時総会 組合  
通常総会 協会
- 26日(土) 手取川・梯川総合水防演習  
(能美郡川北町(辰口橋下流左岸河川敷))
- 29日(火) 事務局打合せ  
広報・研修委員会 (金沢市内)
- 30日(水) 全建 理事会(13:20) 表彰式・総会(14:30)  
(東京 経団連会館)  
全建 70周年記念パーティー  
(東京 経団連会館)  
全国技士会連合会定時総会・表彰式  
(東京 アルカディア市ヶ谷)  
不正軽油撲滅対策協議会 総会〔県総務部〕  
(石川県庁)
- 31日(木) 暴力追放推進定時評議会 (県警本部)

平成30年6月以降の行事予定

- 6月 4日(月) 建産連 正副会長会議  
正副会長会議  
常任理事会
- 5日(火) 石川県土木施工管理技士会通常総会・講演会  
(石川県地場産業振興センター)
- 6日(水) 石川県経営者協会 創立70周年記念祝賀会  
(ANAクラウンプラザホテル金沢)
- 7日(木) 金沢港振興協会 通常理事会  
(金沢ニューグランドホテル)  
広報・研修委員会 視察(～9日) (東北)
- 13日(水) 測量コンテスト(予備日:15日)  
(奥卯辰山健民公園)

- 6月14日(木) 北陸地方整備局との意見交換会 (ホテル日航金沢)
- 18日(月) 青年海外協力隊を支援する会 理事会  
(JICA北陸)
- 金沢港振興協会 定時総会 (金沢市内)
- 21日(木) 建産連 理事会・総会
- 25日(月) 東日本建設業保証 株主総会・取締役会  
(東京 本社ビル)
- 全国建設産業団体連合会 総会
- 26日(火) 全建協連 専務・事務局長会議  
(東京 東海大学校友会館)
- 29日(金) 青年海外協力隊を支援する会 総会  
(石川県地場産業振興センター新館)
- 7月 3日(火) 正副会長会議
- 10月16日(火) 北陸建設業協会地域懇談会 (ホテル日航金沢)

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- 協会報の発行 毎月1日発行  
(毎月10日前後納入、会員送付)
- 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝(図書券)贈呈

(注) お問い合わせは、  
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当  
TEL 076-242-1161(代)内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 5月 8日(火) 青年：幹事会
- 10日(木) 定時総会
- 16日(水) 土木：役員会
- 18日(金) 女性活躍推進取組宣言提出
- 27日(日) クリーンビーチいしかわinかなざわ
- 31日(木) 土木：視察研修(～6/3まで)

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 5月 9日(水) 協会・組合 定時総会
- 11日(金) 土木委員会 総会
- 建築委員会 総会
- 23日(水) 献血奉仕活動

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 5月 3日(木) 「はたらくるまがやってくる」イベント協力
- 9日(水) 定時総会
- 15日(火) 監理技術者講習
- 25日(金) 土木技術部会総会
- 31日(木) 道路アドプト活動

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 5月16日(水) 定時総会

河北郡市土建協同組合

《行事予定》

- 5月 9日(水) 通常総会議案審議役員会
- 17日(木) 通常総会

(一社)羽咋郡市建設業協会

《行事予定》

- 5月22日(火) 定時総会

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 5月10日(木) 監事会
- 11日(金) 理事会
- 18日(金) 通常総会

《お知らせ》

- 6月 7日(木) 七鹿親睦ゴルフコンペ
- 20日(水) 研修視察(～22日)

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 5月10日(木) 鳳輪協会「定時総会」  
建災防鳳輪分会「定時総会」
- 15日(火) 監理技術者講習会
- 16日(水) 奥能登土木委員会  
「監事会」「役員会」「通常総会」
- 28日(月) 奥能登土木委員会・建災防  
鳳輪分会「安全衛生講習会」

《お知らせ》

- 6月 8日(金) 鳳輪協会「正副会長会議」「理事会」  
「奥能登土木事務所懇談会」

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 5月11日(金) (一社)珠洲建設業協会 定時総会  
建災防石川支部 珠洲分会 通常総会
- 16日(水) 奥能登土木委員会 会計監査
- 奥能登土木委員会 理事会・通常総会
- 28日(月) 安全衛生講習会

## 関係機関からのお知らせ

### 平成30年度 設備貸与制度のお知らせ

公益財団法人 石川県産業創出支援機構

当機構では4月1日より「中小企業設備導入支援設備貸与制度（割賦）」の募集をすることとなりました。昨年度より「人手不足に対応した生産性向上分」として0.25%の利子助成が石川県より新設されました。さらに平成28年度より全市町で利子助成が行われることになりましたので、設備導入された企業に対して、年2.75%の割賦損料のうち、県・市町をあわせると実質割賦損料負担0%から（地域によって異なります）の設備投資が可能となります。充実した利子助成により実質割賦損料の負担の軽減を図るだけでなく、ISICOのワンストップサービスによる経営全般の支援にて設備投資を全面的にサポートします。

#### 貸与制度利用のメリット

- ・金融機関の融資枠を使用せず、設備導入ができます。
- ・県、市町からの0.5%～2.75%の利子助成があります。
- ・減価償却ができます。
- ・ワンストップサービスにより経営全般または専門的なアドバイスが受けられます。

#### お問合せ・お申込み

公益財団法人 石川県産業創出支援機構 経営支援部 設備支援課

〒920 8203 金沢市鞍月2丁目20番地 石川県地場産業振興センター新館

TEL(076)267 1174 FAX(076)267 3622

URL <http://www.isico.or.jp/soshiki/0403setsubi>

### 中学校等における職場体験「地域と共に『わく・ワーク(work)体験』」の推進について(依頼)

石川県教育委員会教育長・石川県土木部長

県教育委員会では、中学生の望ましい勤労観・職業観を育むことをねらいとして、中学2年生及び特別支援学校中学部2年生を対象に、平成12年度より『わく・ワーク(work)体験』の愛称で3日間の職場体験活動やボランティア活動等を実施してまいりました。

18年間を経過し、本事業は地域と共に実施する大切な行事として、また、生徒にとって、学ぶこと・働くこと・生きることの意味を実感する貴重な体験として、学校の教育活動に定着しております。

県内の中学校等では、平成30年度においても、引き続き職場体験活動の実施を予定しておりますが、本活動の趣旨をご理解いただき、石川県建設業協会の各位におかれましては今後ともご協力をお願いいたします。

## 夏期におけるクールビズの実施について

一般社団法人 全国建設業協会

環境省では、昨年同様にクールビズ(COOL BIZ)期間を5月1日から9月30日と定め、オフィス等での冷房温度を28 とするなど、各産業界にも積極的な取組を呼び掛けるとともに、10月においても暑い日には適正な室温管理と自主的な軽装や取組を呼びかけているところです。

こうしたことから、本会では、5月1日から9月30日までをクールビズ期間とし、10月においても暑い日は自主的な判断により適宜対応することとしています。

つきましては、この期間内に本会が主催する各種会議、行事等については、軽装(上着・ネクタイの着用の省略)でのご出席・ご参加で結構ですので、よろしくお願いいたします。

## 関係機関からのお知らせ

### 平成30年度 設備貸与制度のお知らせ

公益財団法人 石川県産業創出支援機構

当機構では4月1日より「中小企業設備導入支援設備貸与制度（割賦）」の募集をすることとなりました。昨年度より「人手不足に対応した生産性向上分」として0.25%の利子助成が石川県より新設されました。さらに平成28年度より全市町で利子助成が行われることになりましたので、設備導入された企業に対して、年2.75%の割賦損料のうち、県・市町をあわせると実質割賦損料負担0%から（地域によって異なります）の設備投資が可能となります。充実した利子助成により実質割賦損料の負担の軽減を図るだけでなく、ISICOのワンストップサービスによる経営全般の支援にて設備投資を全面的にサポートします。

#### 貸与制度利用のメリット

- ・金融機関の融資枠を使用せず、設備導入ができます。
- ・県、市町からの0.5%～2.75%の利子助成があります。
- ・減価償却ができます。
- ・ワンストップサービスにより経営全般または専門的なアドバイスが受けられます。

#### お問合せ・お申込み

公益財団法人 石川県産業創出支援機構 経営支援部 設備支援課

〒920 8203 金沢市鞍月2丁目20番地 石川県地場産業振興センター新館

TEL(076)267 1174 FAX(076)267 3622

URL <http://www.isico.or.jp/soshiki/0403setsubi>

### 中学校等における職場体験「地域と共に『わく・ワーク(work)体験』」の推進について(依頼)

石川県教育委員会教育長・石川県土木部長

県教育委員会では、中学生の望ましい勤労観・職業観を育むことをねらいとして、中学2年生及び特別支援学校中学部2年生を対象に、平成12年度より『わく・ワーク(work)体験』の愛称で3日間の職場体験活動やボランティア活動等を実施してまいりました。

18年間を経過し、本事業は地域と共に実施する大切な行事として、また、生徒にとって、学ぶこと・働くこと・生きることの意味を実感する貴重な体験として、学校の教育活動に定着しております。

県内の中学校等では、平成30年度においても、引き続き職場体験活動の実施を予定しておりますが、本活動の趣旨をご理解いただき、石川県建設業協会の各位におかれましては今後ともご協力をお願いいたします。

## 夏期におけるクールビズの実施について

一般社団法人 全国建設業協会

環境省では、昨年同様にクールビズ(COOL BIZ)期間を5月1日から9月30日と定め、オフィス等での冷房温度を28 とするなど、各産業界にも積極的な取組を呼び掛けるとともに、10月においても暑い日には適正な室温管理と自主的な軽装や取組を呼びかけているところです。

こうしたことから、本会では、5月1日から9月30日までをクールビズ期間とし、10月においても暑い日は自主的な判断により適宜対応することとしています。

つきましては、この期間内に本会が主催する各種会議、行事等については、軽装(上着・ネクタイの着用の省略)でのご出席・ご参加で結構ですので、よろしくお願いいたします。

# 平成 30 年度

## 建設業経理事務士特別研修(4級・3級)のご案内

この特別研修は、講習と検定試験とを組み合わせるもので、研修最終日に行われる検定試験に合格すると、4級または3級建設業経理事務士の資格が得られます。

建設業経理事務士特別研修(4級・3級)は、初歩の簿記の仕組みから、建設業固有の簿記・会計・原価計算を総合的に網羅して理解していただけるような内容となっております。特に、全く会計に関する知識がない方や、日常の事務処理は行っているが再度基礎から学ぼうとされる方が独学で学習されるより、講習と検定試験がセットになった本研修を受講することで、その効果は極めて大きいものとなるはずで、また、新人社員の方はもとより、現場で従事する方、自社の財務諸表を読み解き経営の在り方を再構築しようとしている中小企業経営者の方も、本研修制度を活用することにより、必ずや会社の経営改善が進展する第一歩となるものと考えます。

### 1. 申込受付期間

平成 30 年 5 月 10 日(木)～ ※平成30年度より4級・3級同時申込の割引開始

▶定員に余裕がある限り、講習開始の約2週間前まで受付を行いますので、当財団ホームページをご覧ください。

### 2. 受講資格

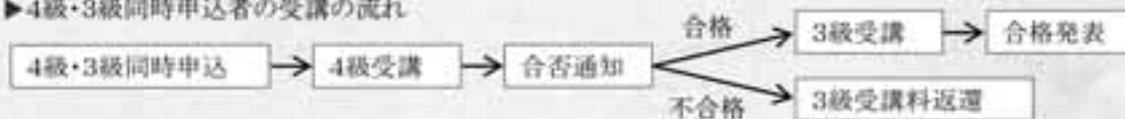
4級：どなたでもお申込みできます。

3級：4級建設業経理事務士(有資格者)

※お一人様各級年度1回のお申込となります

4級建設業経理事務士をお持ちでない方も、同一年度で4級・3級の同時申込が出来ます。

▶4級・3級同時申込者の受講の流れ



※返金額は「5. 受講料等」参照

### 3. 研修内容

4級	簿記とは何か、なぜ大切かという段階から、複式簿記の仕組みを理解していただきます。 (取引の仕訳) → (総勘定元帳への転記) → (試算表の作成) → (精算表の作成) → (決算書の作成)までの一連の流れを親切で丁寧な講義によりわかりやすく、お教えします。
3級	建設工事の施工工程で発生する取引や、一般的な商取引に係る記帳処理上の問題点を解き明かすとともに、建設業の決算について、実務を踏まえた例題を多数用いて明らかにします。 特に重要である建設業の原価計算の基礎をこの段階で確実に理解していただくよう、親切に根気強く、お教えします。

【実施機関・お問合せ先】

一般財団法人 建設業振興基金

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-2-12

TEL:03-5473-4581 (土・日・祝日除く 9:00~12:00、13:00~17:30)

<https://www.keiri-kentei.jp>

